

(3)各ステージの内容

4日目 (8月3日)

登山(交流の家～鍋割山・荒山高原・鳥居峠～赤城山分校)



4日目は、赤城山縦走をしました。交流の家を出発して、鍋割山(1332m)～荒山高原～赤城山分校の行程で、約14kmを踏破しました。鍋割山登山は急な岩場が多く大変でしたが、仲間に危険箇所を共有するという声をかけ合いながら全員頑張って登頂し、グループの仲間としての意識をより認識することができました。宿泊は赤城山分校の体育館で、テントを立て宿泊しました。

5日目 (8月4日)

登山(赤城山分校～黒檜山・長七郎山・地藏岳登山～赤城山分校)



5日目は、赤城山分校から出発し、日本百名山の一つで赤城山の最高峰、黒檜山(1828m)と駒ヶ岳(1689m)を踏破しました。岩場での急な登りや、暑い中での登山となりましたが、グループの仲間と励まし合いながら一歩ずつ登り挑戦する気持ちを高めあいながら登頂することができました。また、登山後は登山の様子をふりかえり、チーム旗に今までの登山や活動を通して新たにできた目標等を書き込みました。

6日目 (8月5日)

登山(赤城山分校～荒山高原・荒山～交流の家)



6日目は、2日間滞在した赤城山分校を出発し、交流の家に戻りました。「限界突破キャンプ」最後の登山の行程では、岩場に注意しあうなど仲間たちと声をかけあっている様子が見られました。これまで過ごしてきた仲間の特徴を踏まえながら自分と仲間の両方を励ましなが、交流の家まで踏破することができました。交流の家に到着した後は、登山行程でできたことや、感じたことなどを話し合い、キャンプのまとめを行いました。

4【ファイナルステージ(本キャンプ)】旅立ちのステージ

ファイナルステージのねらい

全日程をやり遂げたという達成感を味わい、これまでの自分と今の自分の変化や成長を見つめ、今後の自分の生き方について考えていく。

7日目 (8月6日)

決意表明練習・焼き板づくり・お別れ会



7日目は、午前中、一人ひとり「限界突破キャンプ」のまとめを行い、みんなの前で学んだ事を発表しました。参加者それぞれの達成感をお互いに確認することができました。午後からはキャンプの記念として「焼き板作り」を行いました。お別れ会では、野外炊事やボンファイヤーを行い、仲間たちとの最後の時間を楽しみました。

8日目 (8月7日)

閉会式・ふりかえり・決意表明



最終日は、8日間の「限界突破キャンプ」をスライドショーでふりかえり、保護者の方たちの前で、キャンプを通して学んだこと、感じたことを発表しました。仲間とのかかわり合いから、協力の大切さや、これまでの自分から成長したところをお互いに認め合い、「これからの生活に生かしていきたい」という決意を感じることができました。閉会式では、全員に修了証が渡され、8日間のキャンプは幕を閉じました。

新型コロナウイルス感染症対策のポイント②

活動プログラムにおいては

- ⑧ガイドライン(①記載)を基に、すべての活動プログラムで、ソーシャルディスタンスを保ち、換気を十分に行い実施した。
- ⑨活動中を含め、手指消毒を徹底させた。また、活動中はマスク着用の声かけを徹底した。
- ⑩食事(交流の家レストラン)では、距離の確保と黙食を促した。また、野外炊事では、個食対応と使い捨て食器を使用した。物品使用前の消毒や飲食物の共有を避けるための声かけを徹底した。
- ⑪登山プログラムでは、熱中症予防のため、1m以上の間隔をあけて、マスクを外すように声かけをした。
- ⑫仲間づくりプログラムでは、身体接触のないプログラムを実施した。